

丹波地域

丹波篠山市立 岡野小学校
丹波篠山市立 多紀小学校
丹波市立 小川小学校
丹波市立 大路小学校

まちの自慢発信事業



令和元年度 小学校の「ふるさと学習」の紹介

丹波地域の小学校では、「ふるさと学習」を推進しています。

この「ふるさと学習」を通して、子どもたちは生まれ育った丹波地域に愛着や誇りをもち、ふるさと意識を育んでいます。

そこで、平成28年度から、毎年4校の小学校の学習成果をクローズアップし、まちの魅力を順次発信しています。是非、ご覧ください。

兵庫県丹波県民局、兵庫県教育委員会丹波教育事務所
協力：丹波篠山市教育委員会、丹波市教育委員会



未来へ語りつごう！ わたしたちの岡野いん鉄

今から 115 年前の、明治 37 年 4 月 7 日、岡野に一つのいん石（重さ約 4.7 kg）が落下しました。その名は「岡野いん鉄」。岡野小学校 4 年生は、この「宇宙からのおくりもの」について学びました。



【落下直後の岡野いん鉄】

落下場所に行ってみよう

岡野小校区の今福^{いまふく}に落下した岡野いん鉄。その発見者のお孫さんがいらっしやると知り、落下現場に案内していただきました。

実際の落下地点で、発見者のお孫さんである畑利清さんに当時の様子についてお話をうかがいながら、115 年前に落ちてきた岡野いん鉄の様子について想像をふくらませました。



【岡野いん鉄の落下現場にて】

資料を読み解こう

「落下当時の様子をもっと知りたい。資料で調べよう！」

「でも、古い資料は難しくて読めない……。」

そこで、古い資料にくわしく、元大学教授で市内在住の中西健治先生にお手紙を書き、学校にお招きして指導していただきました。

中西先生に難しい言葉をわかりやすく説明していただくことで、古い資料を読み解くことができました。



【難しい語句の説明を受ける児童】

目げき情報をまとめよう

大正時代の資料によると、様々な場所で岡野いん鉄の落下が目げきされていたことがわかりました。そこで、落下地点を地図で調べ、目げき情報を整理しました。

京都府綾部市からも落下が目げきされていたよ！



【京都府綾部市で目げきされた落下する岡野いん鉄（想像図）】

【宋薬】

戸やしょうじがゆれた。

【出石】

東の方から火薬を貯そうする建物がばく発したような音が聞こえた。

【前之庄】

西から東の方向に矢のように通った火の玉が見えた。

【神戸】

遠いところから大ほうをうったような音が聞こえた。

宇宙について知ろう

「岡野いん鉄はどうやってできたのだろう？」

「岡野いん鉄が生まれた宇宙について知りたい！」

そこで、市内にお住まいで天文に詳しい青木昭夫先生に学校に来ていただきました。青木先生から、宇宙、いん石、星空の観察の仕方について学びました。



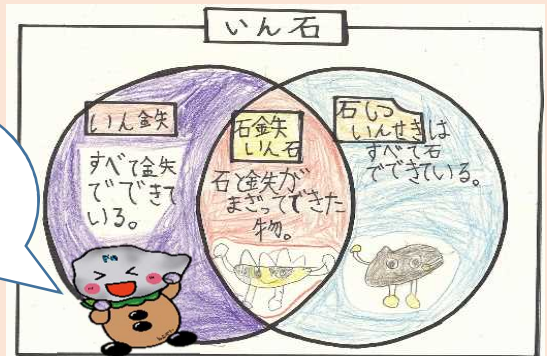
【宇宙についての授業】

いん石について調べよう

「岡野いん鉄って、ほかのいん石とどうちがうのだろう？」

いん石について書かれた本を読んで、いん石全体をくわしく調べると、いん鉄とは、いん石の中でも鉄の成分だけでできているものだとわかりました。

「いん鉄」は、いん石全体のたった5.7%！



岡野いん鉄を広めよう！

「宇宙からのおくり物」岡野いん鉄をもっとたくさんの人に知ってもらいたい！」

学習発表会では、地域の方々に向けて、岡野いん鉄について学んだことを発表しました。

また、よりくわしく、より多くの方に知ってもらうために岡野いん鉄の学習をまとめたリーフレットを作りました。リーフレットは学習発表会や「第9回たんばっ子! 学びフェスタ」の会場などで配布しました。



【リーフレット】

学習を終えて



【学習発表会を終えて】

【児童の感想より】

- 「これまでは星にはあまり興味が無く、夜空をよく見ていませんでした。しかし、宇宙について教えてもらってから、夜空で星座を探したくなりました。」
- 「自分で調べることの楽しさを知りました。これからも、いろいろなことについて、もっと知りたい、調べたい、と思っています。」
- 「岡野いん鉄は、いろんな人たちがくわしく記録を取って、大切に語りつがれてきたことがわかりました。今度は私たちが、この地域の宝物を未来へ語りついでいきたいと思っています。」

丹波篠山市立多紀小学校



多紀小学校は、平成28年4月、村雲小、大芋小、福住小が統合し、誕生しました。「ふるさと」多紀地区の多くの皆様に支えられ、ふるさと学習を進めています。

4・5・6年生が取り組んでいる金管バンドは、地域や保護者の皆さんに感謝の気持ちを伝える機会として、地域のイベントで演奏発表をしています。

「たきまつり」

令和元年度 たきまつり

「福住祭」

「大芋文化祭」

ささみ たき 【笹見四十八滝】

水量が豊富で、始終水が流れている滝が8つあることから、四十八滝と呼ばれるようになりました。



いなり 【稲荷神社】

多紀の強いお相撲さんの絵が境内に設置されています。



【チルドレンズミュージアム】

多紀中学校跡地に作られました。全国から子どもたちが遊びに来ます。



村雲地区

【長福寺】

旧大芋小学校として利用されていた学校が移築され、現在は長福寺となっています。



【藤坂大カツラ】

推定樹齢約300年、幹回り12㍍、高さ30㍍もあり、県の天然記念物に指定されています。

【小倉の珪石】

篠山の珪石は、溶鉱炉の耐火レンガの材料として重宝され、篠山の産業発展に貢献しました。



【八幡神社】

この洞穴に大蜘蛛がすんでいたという伝説が残っています。大芋の名前の由来にもなったともいわれています。

大芋地区



【市野々かかし】

村おこしとしてたくさんのかかしが作られ、訪れた方々を迎え、楽しませてくれます。

【ささやまの森公園】

「兵庫県立ふるさとの森公園」のひとつです。広大な敷地にたくさんの自然遊具、キャンプなどの施設があります。

【安田の大杉】

推定樹齢700年以上。高さは33㍍、幹の周囲は8.4㍍になります。兵庫県の指定天然記念物です。



福住地区

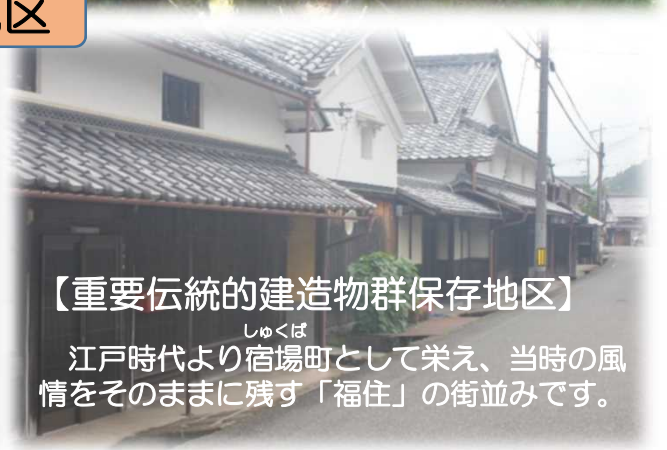
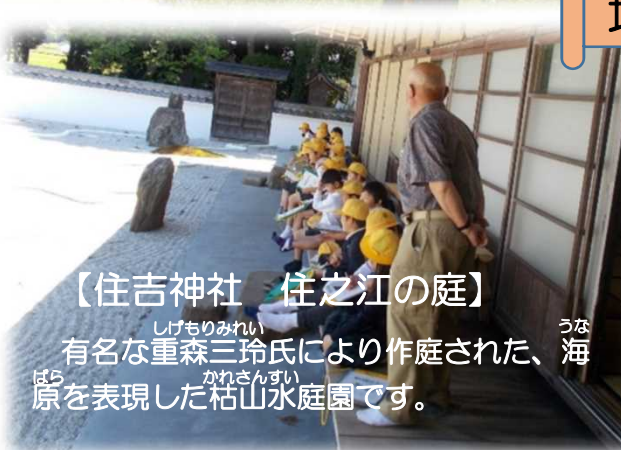


【住吉神社 住之江の庭】

有名な重森三玲氏により作庭された、海原を表現した枯山水庭園です。

【重要伝統的建造物群保存地区】

江戸時代より宿場町として栄え、当時の風情をそのままに残す「福住」の街並みです。





人と心 みんなの思いがつながる やさしい小川



小川地区は、^{いわやたにかわ おくもがわ}岩屋谷川と大芋川（篠山川）、^{いたりやま いわややま}至山と岩屋山に囲まれた自然豊かな

地です。室町幕府を開いた足利尊氏ゆかりの地としても知られ、「自然」と「歴史」

^{しまん}が自慢の地区です。ここで暮らすみんなが「やさしさ」でつながっています。

農産物生産のやさしさ

「安全でおいしいものを届けたい」



広くて平らな土地が多く、きれいな水がたくさんある自然条件を生かして、ベビーリーフの栽培やしいたけの栽培がおこなわれています。^{いわや}岩屋地区を中心にくりの栽培がさかんです。毎年地域の方と一緒に赤米栽培・収穫体験をしています。

お客さんを笑顔にするやさしさ

「小川の自然や地理的条件を生かした企業がいっぱい」

自然を生かしたプリザーブドフラワーの加工会社、川や海の環境を守る活動をするつり具メーカー、お客さんの安全を守る運送会社などがあります。



加工食品生産のやさしさ

「小川を元気にするおいしさを届けています」



地元の食材や天然素材を使ったパンや和菓子を作ったり、地元で育てたお肉を売ったりしているお店があります。「小川には、こんなにおいしいものがあるんだよ！」とアピールして、小川地区を元気にしようという活動もされています。

お年よりにやさしい町

「だれもがいきいきとくらせる町づくり」

お年よりのための施設がたくさんある地域です。毎年施設の方とおもちつきや昔あそびを通じた交流会を持ち、やさしさを学んでいます。



歴史を大切にするやさしさ

「古くからの伝統を守りつなぐ町づくり」

せきがんじ ちょういし ひよし
石龕寺や町石、日吉神社など古くから残されてきたものを地域みんなで大切に守っています。みんなで地域の祭りに参加したり、クリーン作戦に参加したりしています。



やさしさでつながる地域の一員として、何ができるかを学び続けます！

大路の自然 探検隊！

貴重な生き物について知る

大路校区の貴重な生き物について知り、生き物が
生息しやすい環境なのか調べよう！

オオムラサキ



オオムラサキは、国蝶に指定されていて、準絶滅危惧種なんだね。野生のオオムラサキが大路にいるなんて嬉しいね。

ホトケドジョウ



ホトケドジョウは、県内で丹波地域の5か所しか生息していないんだね。外国の研究者も視察にくるなんてすごいね。

ホタル



ホタルは、1年をかけて成虫になるけど、育つ環境が大事なんだね。三井庄川の水や草などがきつといいからだね。

自然環境について調べる

絶滅危惧種のメダ
カもいたよ！



きれい・ややきれいな水に
生息する生き物

校区内を流れる三井庄川には生き物が生息しやすい水が
流れているんだね！ でも、川にゴミが落ちていたね。
どうしたら大路の自然を守れるのかな？

自然環境を守る

校区内のゴミ拾い
に行こう！



1時間の作業でこんな
にもゴミを拾うなんて…。



地域の人や大路校区
に来られた人に、自然を大切に
してもらえるように掲示板にポ
スターを貼ってください！



ホタルの幼虫
を三井庄川に
放流しよう！

お家の人や自
治協議会の方
を招いて発表
会をしよう！

みんなに大路校
区の自然を大切
にもらえるよう
にポスターで呼
びかけよう！



【児童の感想】

大路地区には山にエノキなどの木々がたくさんあり、生き物が生息しやすい水が流
れ、人も、生き物も一緒に生活できる豊かな自然環境であることが分かりました。こ
の豊かな自然環境を大路の自慢とし、これからも大切にしていきたいと思います。

令和元年度「丹波地域まちの自慢発信事業」指定校の学校紹介



丹波篠山市立岡野小学校



学校教育目標 学ぶ喜びを実感させ、確かな学力と豊かな心をもった児童を育成する

創 立 明治24年（岡野尋常小学校として開校）

児 童 数 163名

特 色 岡野隕鉄や黒豆の学習を中心に全学年で地域の講師を招いたふるさと教育に取り組んでいる。また、日本語指導が必要な児童への支援についての研究に積極的に取り組んでいる。

所 在 地 丹波篠山市東浜谷531 TEL 079-552-0553 FAX 079-552-6960
E-mail el-okano@school.sasayama.jp



丹波篠山市立多紀小学校



学校教育目標 ふるさと多紀に学び、未来に挑戦する子の育成
～安全・安心な学校づくりを進め、心豊かで自立した児童を育む～

創 立 平成28年（福住、大芋、村雲の3小学校が統合し創立）

児 童 数 112名

特 色 「自立 愛郷 創造」を校訓に、愛郷心と地域への誇りを育むふるさと学習に取り組んでいる。4・5・6年生が取り組んでいる金管バンドは、旧校区毎のイベントで演奏発表をしている。

所 在 地 丹波篠山市草ノ上108 TEL 079-558-0116 FAX 079-558-0260
E-mail el-taki@school.sasayama.jp



丹波市立小川小学校



学校教育目標 笑顔いっぱい・のびる小川っ子！
～ふるさとに誇りと愛着を持ち、自ら学び続ける、たくましい小川っ子の育成～

創 立 明治6年（推行舎として創立）

児 童 数 93名

特 色 地域とともにある学校づくりをめざし、授業に地域講師を積極的に活用したふるさと学習を展開している。足利尊氏ゆかりの地としても知られ、地域の歴史的な祭りにも児童が参加している。

所 在 地 丹波市山南町井原427-1 TEL 0795-77-0048 FAX 0795-77-3171
E-mail ogawa-es@tamba.ed.jp



丹波市立大路小学校



学校教育目標 ふるさと大路を愛し、夢を求めて挑戦し続ける大路っ子
～ふるさと大路の輝く太陽になろう～

創 立 明治6年（崇広館支校有造舎を創立）

児 童 数 94名

特 色 「大路ふるさと学」と題し、地域の人、自然、ものを活かした教育活動をすすめている。豊かな自然を生かした環境学習に力を入れ、「オオムラサキ」「ホトケドジョウ」「ホタル」の飼育にも取り組んでいる。

所 在 地 丹波市春日町下三井庄1080 TEL 0795-75-0458 FAX 0795-75-2010
E-mail oji-es@tamba.ed.jp

※児童数は、令和元年5月1日現在

「第9回たんばっ子！学びフェスタ」での発表

第9回たんばっ子！学びフェスタ



と き 令和元年11月23日（土・祝）10時～15時
ところ 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター・丹南健康福祉センター



チャレンジQ



ワークショップ



高校生による
創作料理の提供



県立学校の魅力発信

丹波地域まちの自慢発表

地元の自然環境や歴史・文化・特産物などに関する「ふるさと学習」の成果を、岡野小学校、多紀小学校、小川小学校、大路小学校の児童の皆さんが発表しました。



丹波篠山市立岡野小学校

未来へ語りつごう！わたしたちの岡野いん鉄



丹波篠山市立多紀小学校

多紀はよいとこ「多紀じまん」



丹波市立小川小学校

人と心 みんなの思いがつながる やさしい小川



丹波市立大路小学校

大路の自然 探検隊！



第10回たんばっ子！学びフェスタ

令和2年11月23日（月・祝）に開催予定。



丹波地域の学校マップ



※学校名に続く()は、発信年度を示す

[発行・編集]

兵庫県丹波県民局

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688

TEL 0795-73-3718 FAX 0795-72-3077

兵庫県教育委員会丹波教育事務所

〒669-2341 兵庫県丹波篠山市郡家451-2

TEL 079-552-7486 FAX 079-552-6034

URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~tamba-bo/>

[発行日] 令和2年2月



01丹波 © 2-010A4